

科 目		ピアノ I (通期)			
担当教員	菅田睦子	学年	1	履修期間	通期
学科	音楽療法学科3年制	実務経験のある教員等による授業			
種別	演習	単位時間	68単位時間		
1. 概要					
目的	ピアノの基本的な演奏技術と演奏表現を学習する。12調のスケールと和音を身につけ調性感を養う。時代背景を踏まえてバロック、古典、ロマン、近現代まで様々な作品を演奏することによって豊かな音楽表現を習得する。				
2. 講義計画					
第 1 週	オリエンテーション	第 1 9 週	ピアノ個人レッスン14		
第 2 週	ピアノ個人レッスン1	第 2 0 週	ピアノ個人レッスン15		
第 3 週	ピアノ個人レッスン2	第 2 1 週	ピアノ個人レッスン16		
第 4 週	ピアノ個人レッスン3	第 2 2 週	ピアノ個人レッスン17		
第 5 週	ピアノ個人レッスン4	第 2 3 週	ピアノ個人レッスン18		
第 6 週	ピアノ個人レッスン5	第 2 4 週	ピアノ個人レッスン19		
第 7 週	ピアノ個人レッスン6	第 2 5 週	ピアノ個人レッスン20		
第 8 週	ピアノ個人レッスン7	第 2 6 週	ピアノ個人レッスン21		
第 9 週	ピアノ個人レッスン8	第 2 7 週	ピアノ個人レッスン22		
第 1 0 週	ピアノ個人レッスン9	第 2 8 週	ピアノ個人レッスン23		
第 1 1 週	ピアノ個人レッスン10	第 2 9 週	ピアノ個人レッスン24		
第 1 2 週	ピアノ個人レッスン11	第 3 0 週	ピアノ個人レッスン25		
第 1 3 週	ピアノ個人レッスン12	第 3 1 週	ピアノ個人レッスン26		
第 1 4 週	ピアノ個人レッスン13	第 3 2 週	ピアノ個人レッスン27		
第 1 5 週	前期定期試験リハーサル1	第 3 3 週	後期定期試験リハーサル1		
第 1 6 週	前期定期試験リハーサル2	第 3 4 週	後期定期試験リハーサル2		
第 1 7 週	前期定期試験1	第 3 5 週	後期定期試験1		
第 1 8 週	前期定期試験2	第 3 6 週	後期定期試験2		
3. 関連科目及び注意点					
リトミック、音楽療法実習、音楽療法演習、音楽療法技能、音楽療法各論					
4. 成績評価の方法					
日常点および定期試験（実技試験）により評価					
5. 教科書及び参考書など					
教科書	: プリントにて対応				
参考書	:				
6. 注意事項					
ピアノを使つての個人指導・練習					

科 目		リトミック I (通期)			
担当教員	菅原洋子	学年	1	履修期間	通期
学科	音楽療法学科3年制	実務経験のある教員等による授業			
種別	演習	単位時間	68 単位時間		
1. 概要					
目的	リトミックとは音楽を聞き分け身体反応をすることで、心と体の調和を目的とする音楽療法である。本授業では、リトミックの基本的な動きの体験と、その意味を理解することを目的とする。また、障害児者のリトミック体験の例を交えながら活動する。				
2. 講義計画					
第1週	オリエンテーション、音楽の指導項目	第19週	前期の復習、基礎リズムと即興、いろいろな身体の動き、2・3・4・6拍子		
第2週	基礎リズム、即時の反応、不定期アクセ	第20週	前期の復習、歌の表現		
第3週	ント、歌とリズム、音感	第21週	前期の復習 ミニテスト		
第4週	まとめ・ミニテスト	第22週	2・3・4拍子と基礎リズムの複合、創造的活動と即興、歌の表現		
第5週	テンポ、2・3拍子、音高線、リズムパ	第23週	"		
第6週	ターン、強弱、子どもの表現遊び	第24週	"、ミニテスト		
第7週		第25週	自然の表現、指揮、空間と音楽表現、即興メロディを創作		
第8週	まとめ・ミニテスト	第26週	"、リトミック幼児指導グレード3級		
第9週	複合リズム、4拍子、リズムフレーム、	第27週	"、音調と自由表現		
第10週	弛緩、歌と形式	第28週	"		
第11週		第29週	"、ミニテスト		
第12週	まとめ・ミニテスト	第30週	基礎リズムと即興		
第13週	期末試験提示	第31週	期末試験提示		
第14週	北海道リトミックセンターリトミック講習会参加	第32週	まとめ		
第15週	まとめ	第33週	試験準備1		
第16週	模擬試験	第34週	試験準備2		
第17週	前期定期試験1	第35週	後期定期試験1		
第18週	前期定期試験2	第36週	後期定期試験2		
3. 関連科目及び注意点					
音楽療法実習、音楽療法演習、音楽療法技能、音楽療法各論					
4. 成績評価の方法					
実技科目なので出席を第一とし、欠席はできるだけしないこと。 ミニテストを行う。 日常点および定期試験（筆記+実技試験）により評価					
5. 教科書及び参考書など					
教科書	：ドレミのおもちゃ箱、ポケット歌集				
参考書	：				
6. 注意事項					
ステック、ボールを使用					

科 目		音楽療法実習 I (通期)			
担当教員	菅原洋子・小川いづみ	学年	1	履修期間	通期
学科	音楽療法学科 3 年制	実務経験のある教員等による授業			
種別	演習	単位時間	136 単位時間		
1. 概要					
目的	校外で行う実習に向けて、基礎的な知識を身に着け実践できる技術を学ぶ。音楽療法実践の手法を学ぶ。				
2. 講義計画					
第 1 週	円山キッズステーション「PAL」、	第 1 9 週	円山キッズステーション「PAL」、		
第 2 週	NPO法人わたげ放課後ディサービス野いちご、	第 2 0 週	NPO法人わたげ 放課後ディサービス野いちご、		
第 3 週	NPO法人ホップ障害者地域生活支援センター、	第 2 1 週	NPO法人ホップ障害者地域生活支援センター、		
第 4 週	特定非営利法人はぐくみ会、	第 2 2 週	特定非営利法人はぐくみ会、		
第 5 週	ひばりが丘保育園、	第 2 3 週	ひばりが丘保育園、		
第 6 週	福祉生協イリス イリス北8条、	第 2 4 週	福祉生協イリス イリス北8条、		
第 7 週	福祉生協イリス イリスもとまち、	第 2 5 週	福祉生協イリス イリスもとまち、		
第 8 週	有料老人ホーム ソレイユ、	第 2 6 週	有料老人ホーム ソレイユ、		
第 9 週	はまなす介護センター	第 2 7 週	はまなす介護センター		
第 1 0 週	各施設にて交代に実習を行う。		第 2 8 週	各施設にて交代に実習を行う。	
第 1 1 週		第 2 9 週			
第 1 2 週		第 3 0 週			
第 1 3 週		第 3 1 週			
第 1 4 週		第 3 2 週			
第 1 5 週		第 3 3 週			
第 1 6 週		第 3 4 週			
第 1 7 週		第 3 5 週			
第 1 8 週		第 3 6 週			
3. 関連科目及び注意点					
リトミック、音楽療法実習、音楽療法演習、音楽療法技能、音楽療法各論					
4. 成績評価の方法					
日常点および定期試験（実技試験）により評価					
5. 教科書及び参考書など					
教科書	:				
参考書	:				
6. 注意事項					

科 目		音楽教育学Ⅰ（通期）			
担当教員	小川いづみ	学年	1	履修期間	通期
学科	音楽療法学科3年制	実務経験のある教員等による授業			
種別	演習	単位時間	68単位時間		
1. 概要					
目的	スイスジュネーブのエミール・ジャック＝ラルクローズが考案した「リトミック」の音楽療法について、その理論を学び、リトミックの利点を理解したうえで、どのように音楽療法に活動できるかを学ぶ。また同時に即興演奏法を学び、即興演奏を活かせる力をみにつける。				
2. 講義計画					
第1週	序章	第19週	前期の復習とリズムフレーズ		
第2週	第1章「基礎リズム」1	第20週	「楽しく豊かなリトミック」より第7章”リズムフレーズ”		
第3週	第1章「基礎リズム」2	第21週	第7章”リズムフレーズ”（3/4と2/4）		
第4週	第1章「基礎リズム」3 第2章「音感」1	第22週	第7章”リズムフレーズ”（6/8）		
第5週	第2章「音感」2	第23週	第8章「複合」1		
第6週	第2章「音感」3 第3章「アクセント」1	第24週	第8章「複合」2		
第7週	第3章「アクセント」2 第4章「拍子」1	第25週	第8章「複合」3		
第8週	第4章「拍子」2 第5章「即時反応」1	第26週	第8章「複合」4		
第9週	第5章「即時反応」2 第6章「リズムパーン」1	第27週	第8章「複合」5 第9章「想像的表現」1		
第10週	第6章「リズムパーン」2 第6章「リズムフレーム」1	第28週	第9章「想像的表現」2 第10章「曲」1		
第11週	第6章「リズムフレーム」2	第29週	第10章「曲」2		
第12週	第6章「リズムフレーム」3	第30週	第10章「曲」3		
第13週	第6章「リズムフレーム」4	第31週	第10章「曲」4		
第14週	第6章「リズムフレーム」5 第8章「複合」1	第32週	第11章「楽譜」1		
第15週	第8章「複合」2	第33週	第11章「楽譜」2		
第16週	第8章「複合」の復習	第34週	試験準備		
第17週	前期定期試験1	第35週	後期定期試験1		
第18週	前期定期試験2	第36週	後期定期試験2		
3. 関連科目及び注意点					
リトミック、音楽療法実習、音楽療法演習、音楽療法技能、音楽療法各論					
4. 成績評価の方法					
日常点および定期試験（実技試験）により評価					
5. 教科書及び参考書など					
教科書	：「たのしく豊かなリトミック」				
参考書	：				
6. 注意事項					

科 目		音楽療法演習 I (通期)			
担当教員	小川いづみ・菅原洋子	学年	1	履修期間	通期
学科	音楽療法学科3年制	実務経験のある教員等による授業			
種別	演習	単位時間	68単位時間		
1. 概要					
目的	音楽療法の対象者および具体的活動の種類など基礎知識を学び、実践に向けて様々な楽曲を修得する。四季に合わせた曲、行事の沿った曲、童謡・唱歌、戦前の歌謡曲、戦後の歌謡曲、民謡と踊り、わらべ歌、軍歌などあらゆる分野の楽曲を広く理解し、実践に向かう準備をする。				
2. 講義計画					
第1週	福祉生協イリス	イリス北8条、	第19週	福祉生協イリス	イリス北8条、
第2週	福祉生協イリス	イリスもとまち、	第20週	福祉生協イリス	イリスもとまち、
第3週	有料老人ホーム	ソレイユ、	第21週	有料老人ホーム	ソレイユ、
第4週	はまなす介護センター		第22週	はまなす介護センター	
第5週	※各セッションの準備・練習		第23週	※各セッションの準備・練習	
第6週			第24週		
第7週			第25週		
第8週			第26週		
第9週			第27週		
第10週			第28週		
第11週			第29週		
第12週			第30週		
第13週			第31週		
第14週			第32週		
第15週			第33週		
第16週			第34週		
第17週			第35週		
第18週			第36週		
3. 関連科目及び注意点					
リトミック、音楽療法実習、音楽療法演習、音楽療法技能、音楽療法各論					
4. 成績評価の方法					
日常点および定期試験（筆記試験+実技試験）により評価					
5. 教科書及び参考書など					
教科書	:				
参考書	:				
6. 注意事項					

科 目		音楽療法技能 I (前期)			
担当教員	一戸憲子	学年	1	履修期間	前期
学科	音楽療法学科 3 年制	実務経験のある教員等による授業			
種別	演習	単位時間	34 単位時間		
1. 概要					
目的	セッションで使用されると思われる曲の伴奏付け、移調奏を行う。 曲にあった伴奏付け、対象者の音域にあった調で演奏できるようにすることを目的とする。				
2. 講義計画					
第 1 週	「春が来た」「春の小川」メロディ奏 C.F.Gのコードの説明				
第 2 週	前回の復習 こいのぼり メロディ奏と伴奏				
第 3 週	「こいのぼり」「どんぐりころころ」「かもめの水兵さん」				
第 4 週	「夢のお馬車」「蛍」「港」				
第 5 週	「雨降りお月さま」「たなばた」「かたつむり」				
第 6 週	「バラが咲いた」「今日の日はさようなら」				
第 7 週	「森の水車」「揚げば尊し」「雨」				
第 8 週	「赤い帽子白い帽子」「シャボン玉」「知床旅情」				
第 9 週	「知床旅情」「くつがなる」				
第 10 週	「みかんの花が咲く丘」				
第 11 週	「夕日」「うれしいひな祭り」				
第 12 週	「我は海の子」「あの町この町」				
第 13 週	「上を向いて歩こう」				
第 14 週	「上を向いて歩こう」「浜辺の唄」				
第 15 週	試験準備 1 (試験曲の練習)				
第 16 週	試験準備 2 (試験曲の練習)				
第 17 週	前期定期試験 1				
第 18 週	前期定期試験 2				
3. 関連科目及び注意点					
音楽療法実習、音楽療法演習、音楽療法技能、音楽療法各論					
4. 成績評価の方法					
日常点および定期試験（実技試験）により評価					
5. 教科書及び参考書など					
教科書	: プリントにて対応				
参考書	:				
6. 注意事項					

科 目		音楽療法技能Ⅱ（後期）			
担当教員	一戸憲子	学年	1	履修期間	後期
学科	音楽療法学科3年制	実務経験のある教員等による授業			
種別	演習	単位時間	34単位時間		
1. 概要					
目的	セッションで使用されると思われる曲の伴奏付け、移調奏を行う。 曲にあった伴奏付け、対象者の音域にあった調で演奏できるようにすることを目的とする。				
2. 講義計画					
第1週	「荒城の月」「船頭小唄」「里の秋」 伴奏付け 弾き歌い				
第2週	「星の秋」伴奏づけ 「蛍の光」G→Cに移調の練習				
第3週	「蛍の光」G→C 伴奏づけの続き 「たき火」弾き歌い 2つの伴奏 「2は若い」D→C 移調奏				
第4週	「お花がわらった」「となりのトトロ」の弾き歌い				
第5週	「となりのトトロ」弾き歌い 「おべんとうばこのうた」「さんぽ」弾き歌い				
第6週	「おべんとうばこのうた」「ジングルベル」「ドレミのうた」弾き歌い				
第7週	「さんぽ」をコードで弾けるようにする 「ドレミの歌」弾き歌い				
第8週	「さんぽ」暗譜の練習 「どんな色が好き」「ドロップスの歌」伴奏				
第9週	「さんぽ」の復習 「ドロップスの歌」「ハッピーバースデー」弾き歌い				
第10週	「ドロップスのうた」「どんな色が好き」「バナナが1本」「とんとん友達」弾き歌い				
第11週	「さんぽ」の復習 「とんとんともだち」「山の音楽家」「やきいもグーチャーパー」伴奏づけ				
第12週	「さんぽ」の復習 「とんとんともだち」「南の島のハメハメハ大王」伴奏と弾き歌い				
第13週	「公園に行きましょう」伴奏 弾き歌い				
第14週	試験曲「お花がわらった」「ドレミの歌」「おつかいありさん」「おべんとうばこのうた」「さんぽ」の練習				
第15週	試験曲「お花がわらった」「ドレミの歌」「おつかいありさん」「おべんとうばこのうた」「さんぽ」の練習				
第16週	試験曲「お花がわらった」「ドレミの歌」「おつかいありさん」「おべんとうばこのうた」「さんぽ」の練習				
第17週	後期定期試験1				
第18週	後期定期試験2				
3. 関連科目及び注意点					
音楽療法実習、音楽療法演習、音楽療法技能、音楽療法各論					
4. 成績評価の方法					
日常点および定期試験（実技試験）により評価					
5. 教科書及び参考書など					
教科書	: プリントにて対応				
参考書	:				
6. 注意事項					

科 目		音楽療法各論Ⅲ（前期）			
担当教員	一戸憲子	学年	1	履修期間	前期
学科	音楽療法学科3年制	実務経験のある教員等による授業			
種別	講義	単位時間	34 単位時間		
1. 概要					
目的	高齢者への音楽活用の理論的な基礎と、実用的アプローチについて学ぶ。 ケアを必要とする高齢者の生活の質を高めるために音楽をどのように活用するか、各人、考えることを目標とする。				
2. 講義計画					
第1週	日本における音楽療法の幕開け				
第2週	西洋音楽と医学の歴史について 音楽療法の対象者について 音楽療法の治療について				
第3週	音楽療法の治療理論 人間学的治療理論について 行動科学的治療理論について				
第4週	脳と音楽 脳機能とリズムの不思議な関係について				
第5週	老年精神医学 老年精神疾患の特徴 痴呆の診断と評価スケール				
第6週	高齢者音楽療法の目標とプログラムの作り方について				
第7週	認知症のための音楽療法実践研究報告 効果と尺度について				
第8週	認知症のための音楽療法実践と症例報告				
第9週	認知症予防をめざした音楽療法の効果と可能性について 音楽療法の研究方法について				
第10週	脳の仕組みについて 資格情報の処理 ブローカ野とウェルニケ野 前頭連合野の働き				
第11週	脳と睡眠について レム睡眠とノンレム睡眠 睡眠と脳内ホルモンについて				
第12週	脳の発達について 脳と社会 脳の発達過程 脳と神経細胞				
第13週	脳の様々な病気について 脳の機能低下について				
第14週	脳の病気について 脳死の判定 脳についてまとめ				
第15週	前期の授業のポイント				
第16週	試験準備				
第17週	前期定期試験1				
第18週	前期定期試験2				
3. 関連科目及び注意点					
音楽療法実習、音楽療法演習、音楽療法技能					
4. 成績評価の方法					
日常点および定期試験（筆記試験）により評価					
5. 教科書及び参考書など					
教科書	: プリントにて対応				
参考書	:				
6. 注意事項					

科 目		音楽療法各論Ⅱ（後期）			
担当教員	一戸憲子	学年	1	履修期間	後期
学科	音楽療法学科3年制	実務経験のある教員等による授業			
種別	講義	単位時間	34単位時間		
1. 概要					
目的	成人の精神科領域の音楽療法について学ぶ。様々な精神疾患について学び、理解を高める。				
2. 講義計画					
第1週	日本における精神科医療への音楽療法の導入 精神科医療における様々な治療1				
第2週	精神科医療における様々な治療法2				
第3週	精神科医療における様々な治療法を詳しく学ぶ				
第4週	様々な療法（精神障がい領域）家族療法 芸術療法 行動療法 S.S.T 来談者中心療法について				
第5週	精神科医療における音楽療法の対象について				
第6週	慢性期の音楽療法 オープングループ音楽療法 ディケアの音楽療法について				
第7週	精神科で行われる音楽療法のいろいろ。能動的な方法について				
第8週	トーンチャイムの使い方 「ふるさと」「春が来た」「聖夜」「バラが咲いた」「知床旅情」「たきび」				
第9週	オートハープを弾いてみる 「ジングルベル」「四季の歌」「春千鳥」「ドレミの歌」				
第10週	精神科で行われている音楽療法のいろいろ 受動的な方法について				
第11週	音楽療法におけるプログラムと脱プログラムについて 疾患とそれに対応する音楽療法について				
第12週	感情言語、肉体言語としての音楽について 音楽の選択				
第13週	精神療法としての音楽療法について				
第14週	まとめ				
第15週	試験準備1				
第16週	試験準備2				
第17週	後期定期試験1				
第18週	後期定期試験1				
3. 関連科目及び注意点					
音楽療法実習、音楽療法演習、音楽療法技能					
4. 成績評価の方法					
日常点および定期試験（筆記試験）により評価					
5. 教科書及び参考書など					
教科書	：新訂 高齢者の音楽療法				
参考書	：				
6. 注意事項					

科 目		音楽療法概論 I (前期)			
担当教員	菅原洋子	学年	1	履修期間	前期
学科	音楽療法学科 3 年制	実務経験のある教員等による授業			
種別	講義	単位時間	34 単位時間		
1. 概要					
目的	音楽療法の定義、発達と歴史、対象者の理解と治療的ニーズについて学ぶ。 対象者の理解と治療的ニーズを学ぶことにより、どのような援助ができるか各人、考えることを目標とする。				
2. 講義計画					
第 1 週	オリエンテーション 学習の進め方				
第 2 週	音楽療法の概要 音楽療法な何かを学ぶか				
第 3 週	音楽療法の歴史 古代文明における音楽の使用				
第 4 週	音楽療法の歴史 中世 ルネッサンス時代の音楽の使用				
第 5 週	音楽療法の歴史 アメリカにおける音楽療法の発達				
第 6 週	人間と音楽 子供の音楽的成長について				
第 7 週	人間と音楽 青少年と成人の音楽活動について				
第 8 週	社会における音楽 メリアムの 10 項目の音楽の社会的機能について				
第 9 週	音楽療法の対象者 知的発達障害児 (者) のための音楽療法				
第 10 週	音楽療法の対象者 精神障害の治療における音楽療法				
第 11 週	音楽療法の対象者 高齢者に対する音楽療法。老化の身体的、心理的理論を学ぶ 1				
第 12 週	音楽療法の対象者 高齢者に対する音楽療法。老化の身体的、心理的理論を学ぶ 2				
第 13 週	音楽療法の対象者 高齢者に対する音楽療法。老化の身体的、心理的理論を学ぶ 3				
第 14 週	まとめ				
第 15 週	試験準備 1				
第 16 週	試験準備 2				
第 17 週	前期定期試験 1				
第 18 週	前期定期試験 2				
3. 関連科目及び注意点					
リトミック、音楽療法実習、音楽療法演習、音楽療法技能、音楽療法各論					
4. 成績評価の方法					
日常点および定期試験 (実技試験) により評価					
5. 教科書及び参考書など					
教科書	: 音楽療法入門 1 理論と実践				
参考書	:				
6. 注意事項					

科 目		音楽療法統計学（後期）			
担当教員	菅原洋子	学年	1	履修期間	後期
学科	音楽療法学科3年制	実務経験のある教員等による授業			
種別	演習	単位時間	34単位時間		
1. 概要					
目的	1. 音楽療法の効果を実証的研究手法を身に着けるため、統計学を理解し、実際の音楽療法の評価に生かすことを目標とする。 2. 即興演奏力を養成し、音楽療法の実施に生かすことを目標とする。				
2. 講義計画					
第1週	音楽療法研究法1～音楽療法の治療の課程 即興1「基礎リズム」「拍子」「動物」				
第2週	音楽療法研究法2～音楽療法の効果の実証的研究 即興2「2拍子と基礎リズム」「動物」				
第3週	音楽療法研究法3～データの理解 即興3「3拍子と基礎リズム」「動物」				
第4週	音楽療法研究法4～研究手法 即興4「4拍子と基礎リズム」「動物」				
第5週	音楽療法研究法5～統計の基礎概念 即興5ミニテスト「拍子と基礎リズム」				
第6週	音楽療法研究法6～統計法 即興6ミニテスト「動物」				
第7週	音楽療法実習評価 内容の確認 即興7 <3級><2級>				
第8週	音楽療法研究のまとめ 即興8<3級><2級>				
第9週	音楽療法研究法 課題提出				
第10週	音楽療法評価の実際1 目標と観察 即興9小川の流れ				
第11週	音楽療法評価の実際2 データと評価 即興10そよ風と台風				
第12週	実証的な実習評価のまとめ方1 即興11自然の表現				
第13週	実証的な実習評価のまとめ方2				
第14週	まとめ				
第15週	試験準備1				
第16週	試験準備2				
第17週	後期定期試験				
第18週	後期定期試験の講評				
3. 関連科目及び注意点					
音楽療法実習、音楽療法演習、音楽療法技能、音楽療法各論					
4. 成績評価の方法					
日常点および定期試験（筆記試験）およびミニテストにより評価					
5. 教科書及び参考書など					
教科書	: プリントにて対応				
参考書	:				
6. 注意事項					

科 目		芸術社会学Ⅰ（通期）			
担当教員	越野陽子	学年	1	履修期間	通期
学科	音楽療法学科3年制	実務経験のある教員等による授業			
種別	演習	単位時間	68単位時間		
1. 概要					
目的	音楽療法に不可欠な、様々なジャンルの歌を知る事が目的です。童謡・唱歌・歌謡曲・外国曲・民謡等々、多様な種類と幅広い対象年齢を踏まえて選んだ曲を歌い、伴奏し、先読みし、楽曲の考察を行います。				
2. 講義計画					
第1週	「春が来た」「春の小川」「どじょっこふなっこ」	第19週	「悲しき口笛」「カチューシャの唄」「ゴンドラの唄」		
第2週	「春が来た」「春の小川」「どじょっこふなっこ」	第20週	「コスモス」「ふれあい」「銀色の道」		
第3週	「若葉」「牧の朝」「森の水車」	第21週	「かえり船」「岸壁の母」「りんごのひとりごと」		
第4週	「赤い靴」「青い目の人形」「かなりや」	第22週	「小さい秋みつけた」「月の砂漠」「上海帰りのリル」		
第5週	「おもちゃのチャチャチャ」「おぼけなんてないさ」「サッチャン」	第23週	「世界に一つだけの花」「あの素晴らしい愛をもう一度」「さとうきび畑」		
第6週	「丘を越えて」「高原列車は行く」「憧れのハワイ航路」	第24週	「若者たち」「かあさんの唄」「雪山讃歌」		
第7週	「いつでも愛を」「今日の日はさようなら」「明日があるさ」	第25週	「東京ラプソディ」「銀座カンカン娘」「銀座の恋の物語」		
第8週	「白いブランコ」「シクラメンのかほり」「ブルーシャドー」	第26週	「旅愁」「埴生の宿」「故郷の廃屋」		
第9週	「一寸法師」「花咲じじい」「牛若丸」	第27週	「星に願いを」「虹の彼方に」「小さな世界」		
第10週	「川の流れるように」「人生いろいろ」「水戸黄門」	第28週	「サザエさん」「ドラえもん」「アンパンマンのテーマ」		
第11週	「バラが咲いた」「幸せなら手をたたこう」「花嫁」	第29週	「いい湯だな」「幼なじみ」「恋のバカンス」		
第12週	「真っ赤な太陽」「霧の摩周湖」「瀬戸の花嫁」	第30週	「一杯のコーヒーから」「北国の春」「北の宿」		
第13週	「椰子の実」「宵待草」「琵琶湖周航の歌」	第31週	「地上の星」「時代」「昴」		
第14週	試験課題配布 暗譜10曲 先読み「若葉」	第32週	試験曲決定 暗譜10曲 先読み2曲		
第15週	試験練習1 先読み「丘を越えて」	第33週	「悲しき口笛」		
第16週	試験練習2 暗譜10曲	第34週	「カチューシャの唄」		
第17週	前期定期試験1	第35週	後期定期試験1		
第18週	前期定期試験2	第36週	後期定期試験2		
3. 関連科目及び注意点					
リトミック、音楽療法実習、音楽療法演習、音楽療法技能、音楽療法各論					
4. 成績評価の方法					
日常点および定期試験（実技試験）により評価					
5. 教科書及び参考書など					
教科書	：音楽療法の現場から贈る 歌の宝石箱1～3				
参考書	：				
6. 注意事項					

科 目		合唱 I (通期)			
担当教員	越野陽子	学年	1	履修期間	通期
学科	音楽療法学科 3 年制	実務経験のある教員等による授業			
種別	演習	単位時間	68	単位時間	
1. 概要					
目的	合唱の目的は、音を重ねた時のハーモニーの美しさを体感する事。セッションの内容に変化を持たせ、より豊かさを加える為にも、合唱で体験した響きの美しさを、音楽療法の現場で再現させる為の応用法を学びます。				
2. 講義計画					
第 1 週	「校歌」「ロンドン橋+メリーさんの羊」	第 1 9 週	「時代 (二部合唱)」「旅愁」		
第 2 週	「校歌」「遠くへ行きたい」「うるわし春よ」	第 2 0 週	「時代 (二部合唱)」「旅愁」		
第 3 週	「ドレミのカノン」「涙そうそう」	第 2 1 週	「時代 (ハーモニー作り)」「旅愁 (音とり)」		
第 4 週	「うるわし春よ」「涙そうそう」「ダニーボーイ」	第 2 2 週	「旅愁 (二部合唱)」「夜明けから日暮れまで」		
第 5 週	「ドレミのカノン」「ダニーボーイ」「涙そうそう」「麦の唄」	第 2 3 週	「旅愁」「夜明けから日暮れまで」		
第 6 週	「ドレミのカノン」「ダニーボーイ」「涙そうそう」「麦の唄」	第 2 4 週	「旅愁」「夜明けから日暮れまで」「いのらの理由 (音とり)」		
第 7 週	「ドレミのカノン」「ダニーボーイ」「涙そうそう」「麦の唄」	第 2 5 週	「旅愁」「夜明けから日暮れまで」「いのらの理由」		
第 8 週	「ブルーシャトウ」「パートナーリング」「花まつり」	第 2 6 週	「旅愁」「夜明けから日暮れまで」「いのらの理由」		
第 9 週	「花祭り」「麦の唄」「はじめの歩」「ほたるこい」	第 2 7 週	「旅愁」「夜明けから日暮れまで」「いのらの理由」		
第 1 0 週	「はじめの歩」「ほたるこい」	第 2 8 週	「夜明けから日暮れまで」「見上げてごらん夜の星を」		
第 1 1 週	「はじめの歩」「ほたるこい」「コンドルは飛んで行く」	第 2 9 週	「夜明けから日暮れまで」		
第 1 2 週	「はじめの歩 (二部合唱)」「ほたるこい (パート分け)」	第 3 0 週	「夜明けから日暮れまで」「見上げてごらん夜の星を」		
第 1 3 週	「はじめの歩」「ほたるこい」「麦の唄 (パート分け)」	第 3 1 週	「夜明けから日暮れまで」「見上げてごらん夜の星を」		
第 1 4 週	「コンドルは飛んで行く」「ほたるこい」	第 3 2 週	「見上げてごらん夜の星を」		
第 1 5 週	「遠くへ行きたい」「ダニー・ボーイ」	第 3 3 週	「見上げてごらん夜の星を」 (二人で一組 上下パート)		
第 1 6 週	「コンドルは飛んで行く」「ほたるこい」	第 3 4 週	「見上げてごらん夜の星を」 (二人で一組 上下パート)		
第 1 7 週	前期定期試験 1	第 3 5 週	後期定期試験 1		
第 1 8 週	前期定期試験 2	第 3 6 週	後期定期試験 2		
3. 関連科目及び注意点					
リトミック、音楽療法実習、音楽療法演習、音楽療法技能、音楽療法各論					
4. 成績評価の方法					
日常点および定期試験 (実技試験) により評価					
5. 教科書及び参考書など					
教科書	:				
参考書	:				
6. 注意事項					

科 目		デジタルサウンド基礎実習 I (前期)			
担当教員	宮崎亮	学年	1	履修期間	前期
学科	音楽療法学科3年制	実務経験のある教員等による授業			
種別	演習	単位時間	34 単位時間		
1. 概要					
目的	コンピュータを使って作曲を行う。 デジタル機器を使っての演奏、作曲できるだけの技術を学ぶ。				
2. 講義計画					
第 1 週	「春」 「北海道」 Tempo80 Nylon. Gt 1				
第 2 週	「春」 「北海道」 Tempo80 Nylon. Gt 2				
第 3 週	「春」 「北海道」 Nylon. G アルペジオ E・Pコード (白玉) A・Bass dd1 1				
第 4 週	「春」 「北海道」 Nylon. G アルペジオ E・Pコード (白玉) A・Bass dd1 2				
第 5 週	「春」 Cパート・コード自由。p・fからGuitとBSも。 1				
第 6 週	「春」 Cパート・コード自由。p・fからGuitとBSも。 2				
第 7 週	「春」 Cパート メロディー。Steel Gt or Pan flute or Bottle blow 1				
第 8 週	「春」 Cパート メロディー。Steel Gt or Pan flute or Bottle blow 2				
第 9 週	「春」 整理。フリーで1曲作る。 1				
第 10 週	「春」 整理。フリーで1曲作る。 2				
第 11 週	「春」 整理。フリーで1曲作る。 3				
第 12 週	フリー曲。A・B・C・ (AB) で、Dr. Bs. コード、メロディー、+d 1				
第 13 週	フリー曲。A・B・C・ (AB) で、Dr. Bs. コード、メロディー、+d 2				
第 14 週	フリー曲。A・B・C・ (AB) で、Dr. Bs. コード、メロディー、+d 3				
第 15 週	試験準備 1				
第 16 週	試験準備 2				
第 17 週	前期試験 1				
第 18 週	前期試験 2				
3. 関連科目及び注意点					
デジタルサウンド基礎実習 II					
4. 成績評価の方法					
日常点および定期試験 (実技試験) および課題点により評価					
5. 教科書及び参考書など					
教科書	: プリントにて対応				
参考書	:				
6. 注意事項					
パソコンを使つての授業である					

科 目		デジタルサウンド基礎実習Ⅱ（後期）			
担当教員	宮崎亮	学年	1	履修期間	後期
学科	音楽療法学科3年制	実務経験のある教員等による授業			
種別	演習	単位時間	34単位時間		
1. 概要					
目的	コンピュータを使って作曲を行う。 デジタル機器を使っての演奏、作曲できるだけの技術を学ぶ。				
2. 講義計画					
第1週	フリー曲。A・B・C・（AB）で、Dr. Bs.コード、メロディー、+d	1			
第2週	フリー曲。A・B・C・（AB）で、Dr. Bs.コード、メロディー、+d	2			
第3週	Bright POP 16要素入れ、バックサウンドまで。	1			
第4週	Bright POP 16要素入れ、バックサウンドまで。	2			
第5週	Bright POP Cパート着手。A・Bメロディ入れ。	1			
第6週	Bright POP Cパート着手。A・Bメロディ入れ。	2			
第7週	B・POP Cサビ メロディ入れ完成へ	1			
第8週	B・POP Cサビ メロディ入れ完成へ	2			
第9週	B・POP 自前で作る	1			
第10週	B・POP 自前で作る	2			
第11週	B・POP 自前で作る	3			
第12週	Bright POP自作	1			
第13週	Bright POP自作	2			
第14週	Bright POP自作	3			
第15週	試験準備	1			
第16週	試験準備	2			
第17週	後期試験	1			
第18週	後期試験	2			
3. 関連科目及び注意点					
デジタルサウンド基礎実習Ⅰ					
4. 成績評価の方法					
日常点および定期試験（実技試験）および課題点により評価					
5. 教科書及び参考書など					
教科書	：プリントにて対応				
参考書	：				
6. 注意事項					
パソコンを使っての実習である。					

科 目		音楽通論（前期）			
担当教員	木村純	学年	1	履修期間	前期
学科	音楽療法学科3年制	実務経験のある教員等による授業			
種別	演習	単位時間	34単位時間		
1. 概要					
目的	音楽理論の基礎知識（理論・曲種・形式）を学び、音楽療法士としての音楽表現力を高め、実践的な能力を養う。				
2. 講義計画					
第1週	五線の名称 音符記号				
第2週	音名と変化記号について				
第3週	基本型三和音の配置				
第4週	まとめ				
第5週	音程について				
第6週	5度～8度までの幹音による音程について				
第7週	副音程 転回音程				
第8週	音程について 派生音のある音程				
第9週	長音階について1				
第10週	長音階について2				
第11週	短音階について				
第12週	自然的短音階について				
第13週	和声的短音階・旋律的短音階について				
第14週	旋律的短音階について				
第15週	試験準備1				
第16週	試験準備2				
第17週	前期試験1				
第18週	前期試験2				
3. 関連科目及び注意点					
音楽療法実習、音楽療法演習、音楽療法技能、音楽療法各論					
4. 成績評価の方法					
日常点および定期試験（筆記試験）により評価					
5. 教科書及び参考書など					
教科書	: 改訂 音楽通論 [単行本]				
参考書	:				
6. 注意事項					

科 目		器楽 I (通期)			
担当教員	木村純	学年	1	履修期間	通期
学科	音楽療法学科 3 年制	実務経験のある教員等による授業			
種別	演習	単位時間	68 単位時間		
1. 概要					
目的	音楽療法のセッションで行う、器楽での演奏方法を学ぶ。 また、音楽療法実習で演奏する曲の練習も行う。				
2. 講義計画					
第 1 週	アコーディオン ピアノ連弾	第 1 9 週	「勇気100%」「私のお気に入り」		
第 2 週	予備知識 各声部の音域について	第 2 0 週	「虫の声」「まっかな秋」		
第 3 週	「春」「小川」 ピアノ連弾「春が来た」	第 2 1 週	「虫の声」「まっかな秋」「私のお気に入り」		
第 4 週	「ドレミの歌」	第 2 2 週	「虫の声」「まっかな秋」「ディズニー・メドレー」		
第 5 週	「ドレミの歌」 ピアノによるコード練習	第 2 3 週	「ディズニー・メドレー」		
第 6 週	「ドレミの歌」 連弾による和音練習	第 2 4 週	「ディズニー・メドレー」「あわてんぼうのサンタクロース」		
第 7 週	「エーデルワイス」「ドレミの歌」	第 2 5 週	「ディズニー・メドレー」「あわてんぼうのサンタクロース」		
第 8 週	「エーデルワイス」「サウンドオブミュージック」	第 2 6 週	「ディズニー・メドレー」「あわてんぼうのサンタクロース」		
第 9 週	「エーデルワイス」「サウンドオブミュージック」	第 2 7 週	「おどるポンポコリン」「あわてんぼうのサンタクロース」		
第 1 0 週	「エーデルワイス」「サウンドオブミュージック」	第 2 8 週	「おどるポンポコリン」「お正月の3つの歌」		
第 1 1 週	「エーデルワイス」「サウンドオブミュージック」	第 2 9 週	「おどるポンポコリン」「お正月の3つの歌」「ジングルベル」		
第 1 2 週	「エーデルワイス」「サウンドオブミュージック」	第 3 0 週	「おどるポンポコリン」「冬の星座」		
第 1 3 週	「小さい秋見つけた」	第 3 1 週	「おどるポンポコリン」「虹と雪のパラード」		
第 1 4 週	「小さい秋見つけた」	第 3 2 週	「おどるポンポコリン」「虹と雪のパラード」		
第 1 5 週	試験準備 1	第 3 3 週	試験準備 1		
第 1 6 週	試験準備 2	第 3 4 週	試験準備 2		
第 1 7 週	前期定期試験1	第 3 5 週	後期定期試験 1		
第 1 8 週	前期定期試験 2	第 3 6 週	後期定期試験 2		
3. 関連科目及び注意点					
リトミック、音楽療法実習、音楽療法演習、音楽療法技能、音楽療法各論					
4. 成績評価の方法					
日常点および定期試験（実技試験）により評価					
5. 教科書及び参考書など					
教科書	: 特に使用しない				
参考書	:				
6. 注意事項					

科 目		鍵盤和声（後期）			
担当教員	木村純	学年	1	履修期間	後期
学科	音楽療法学科3年制	実務経験のある教員等による授業			
種別	演習	単位時間	34 単位時間		
1. 概要					
目的	鍵盤上の体験を通して、和声感をみにつける。 音の響きや動きと連動させて練習し、体で和声感を覚える。				
2. 講義計画					
第1週	S.A練習「私のお気に入り」コードネームによる伴奏付け				
第2週	S.A練習「真っ赤な秋」「私のお気に入り」コードネームによる和音付け「こぎつね」「はにゆうの宿」				
第3週	S.A練習「真っ赤な秋」「私のお気に入り」「もみじ」「小さい秋見つけた」コードネームによる和音付け「ラバースコンチェルト」「はにゆうの宿」				
第4週	S.A練習「ディズニー・メドレー」コードネームによる伴奏付け「ラバースコンチェルト」「スコットランドのつりがね草」				
第5週	S.A練習「ディズニー・メドレー」コードネームによる伴奏付け「ラバースコンチェルト」「スコットランドのつりがね草」				
第6週	S.A練習「ディズニー・メドレー」コードネームによる伴奏付け「野ばら」「マイ・ボニー」				
第7週	コードネームによる伴奏付け「若葉」「ゆりかごの歌」「川はよんでいる」「あわてんぼうのサンタクロース」				
第8週	アコーディオン練習 コードネームによる伴奏付け練習「星の世界」「若葉」「ゆりかごの歌」「川はよんでいる」「あわてんぼうのサンタクロース」				
第9週	アコーディオン練習 コードネームによる伴奏付け練習「冬景色」「琵琶湖周航の歌」				
第10週	器楽で使用する曲のパート譜書き（おどるポンポコリン）				
第11週	アコーディオン二重奏「冬の星座」 器楽のためのパート練習「おどるポンポコリン」 伴奏付け練習「冬景色」「琵琶湖周航の歌」「車に揺られて」				
第12週	S.A練習「冬の星座」「虹と雪のバラード」「冬の星座」 伴奏付け「車に揺られて」「大きな古時計」				
第13週	試験対策1				
第14週	試験対策2				
第15週	試験対策3				
第16週	試験対策4				
第17週	後期定期試験1				
第18週	後期定期試験2				
3. 関連科目及び注意点					
4. 成績評価の方法					
日常点および定期試験（実技試験）により評価					
5. 教科書及び参考書など					
教科書	：特に使用しない				
参考書	：				
6. 注意事項					

科 目		声楽・ソルフェージュ I (通期)			
担当教員	越野陽子	学年	1	履修期間	通期
学科	音楽療法学科3年制	実務経験のある教員等による授業			
種別	演習	単位時	68	単位時間	
1. 概要					
目的	音楽療法士には、明るい声でセッションを進める能力が必須です。声楽の授業では、大勢の対象者の前でも良く通る響きの良い発声法を身につけるため、基本的な腹式呼吸を徹底させ、美しい歌唱法の獲得を目指します。				
2. 講義計画					
第1週	ガイダンス ソルフェージュ「故郷」8小節聴音 コンコーネNo1譜読み	第19週	コンコーネNo7 「大学女子音楽」(1)(2)イタリア語・装飾音のうたい方		
第2週	「故郷」うた 「ドレミの歌」聴音 コンコーネNo1 発声法の基礎	第20週	コンコーネNo7 8譜読み 「大学女子音楽」(3)		
第3週	コンコーネNo1 (D)終了 ドレミの歌続き	第21週	コンコーネNo8 譜読み 聴音(6)(5) 視唱		
第4週	コンコーネNo3譜読み Are you sleeping ロンドン橋 書き取り	第22週	コンコーネNo8 聴音3/4(8)×3問 [Caro mio ben]		
第5週	コンコーネNo3 「びっくり」のテーマ 「ヘンゲレ」テーマ	第23週	コンコーネNo8,9譜読み [Nina] C3/4Ⓢ×3問		
第6週	コンコーネNo3 「手をたたきましょう」記譜	第24週	コンコーネNo9 [Nina] C4/4Ⓢ×2問		
第7週	コンコーネNo3 「大きな栗の木の下で」「いとまき」	第25週	コンコーネNo9,10譜読み C4/4Ⓢフォスター「故郷の人々」		
第8週	コンコーネNo4 「ぶんぶんぶん」	第26週	コンコーネNo9,10 「スワニー河」「ロンドン橋」		
第9週	コンコーネNo4 「手とたたきましょう」「アマリリス」	第27週	コンコーネNo11譜読み [Lascia chio pianga]メロディのみ		
第10週	コンコーネNo4 シャボン玉 チューリップ Fdur移調譜	第28週	コンコーネNo11 [Lascia chio pianga]歌詞付き		
第11週	コンコーネNo4 赤い鳥小鳥 Fdur移調譜	第29週	コンコーネNo12 音とり Gdur 3/4 8×2問		
第12週	コンコーネNo5 かわいいオーガスティン めだかの学校	第30週	コンコーネNo50-No7,8,10 視唱 聴音		
第13週	「気のいいアヒル」「ひのまる」「スケート」	第31週	コンコーネNo7,8,10 [Caro mio ben]		
第14週	コンコーネNo1・4・5 「遠くへ行きたい」	第32週	コンコーネNo7,8,10 [Caro mio ben]		
第15週	コンコーネNo1・4・5 「荒城の月」	第33週	後期定期試験練習		
第16週	コンコーネNo1・4・5 「犬のおまわりさん」	第34週	後期定期試験練習		
第17週	前期定期試験1	第35週	後期定期試験1		
第18週	前期定期試験2	第36週	後期定期試験2		
3. 関連科目及び注意点					
合唱					
4. 成績評価の方法					
日常点および定期試験(実技試験)により評価					
5. 教科書及び参考書など					
教科書	: 特に使用しない				
参考書	:				
6. 注意事項					

発達心理学（前期）					
担当教員	小林久美子	学年	1	履修期間	通期
学科	音楽療法学科3年制				
	種別	座学	単位時間	34	単位時間
1. 概要					
	目的	人間の発達段階と発達課題といった基礎的な知識を学ぶことにより、音楽療法に役立てることを目的とする。			
2. 講義計画					
	第1週	自己紹介・発達とは（ベビーシエマ、原始反射）			
	第2週	赤ちゃんの五感、気質、微笑み			
	第3週	身体の発達 ハーローの実験 ポウルビィ愛着理論			
	第4週	親子関係 兄弟の性格 人見知り 分離不安			
	第5週	「遊び」について、遊びの価値 プレイセラピーと音楽療法			
	第6週	遊びの発達			
	第7週	スクイグル アクスラインの8原則（プレイセラピー）			
	第8週	ことばの発達			
	第9週	思考の発達（ピアジェ） 感情の発達			
	第10週	エリクソンの理論 乳児期 乳児前期			
	第11週	エリクソンの理論 幼児後期 児童機			
	第12週	エリクソンの理論 思春期（前期）			
	第13週	エリクソンの理論 思春期（後期）			
	第14週	エリクソンの理論 成人期			
	第15週	エリクソンの理論 壮年期 老年期			
	第16週	発達障害 自閉症とは（映画「レインマン」）			
	第17週	後期定期試験1			
	第18週	後期定期試験2			
3. 関連科目及び注意点					
	臨床心理学				
4. 成績評価の方法					
	日常点および定期試験（筆記試験）により評価				
5. 教科書及び参考書など					
	教科書	：プリントにて対応			
	参考書	：			
6. 注意事項					

科 目		臨床心理学（後期）			
担当教員	小林久美子	学年	1	履修期間	通期
学科	音楽療法学科3年制				
種別	座学	単位時間	34単位時間		
1. 概要					
目的	音楽療法士として、精神疾患や発達障がいのある方に、心理的援助を行うための理論を学ぶ。				
2. 講義計画					
第 1 週	臨床心理学とは フロイトの理論				
第 2 週	エゴグラム実習 質問紙法について				
第 3 週	ジョハリの窓 「役割」は人を変える				
第 4 週	カウンセリングについて 傾聴と共感 1				
第 5 週	カウンセリング技法 カウンセリングの実際 (DVD)				
第 6 週	カウンセリングの制限 心理検査 (性格検査) について				
第 7 週	Y-G性格検査実習				
第 8 週	SCT検査について				
第 9 週	HTPテスト 風景構成法				
第 10 週	P-Fスタディ実習 P-Fスタディについて				
第 11 週	TAT CAT 投影法とは				
第 12 週	心の病について 自閉症 1				
第 13 週	心の病について 自閉症 2				
第 14 週	心の病について 知的障がい				
第 15 週	知的障がいの人とのかかわりあいを考える				
第 16 週	障害の受容について				
第 17 週	後期定期試験 1				
第 18 週	後期定期試験 2				
3. 関連科目及び注意点					
4. 成績評価の方法					
日常点および定期試験（筆記試験）により評価					
5. 教科書及び参考書など					
教科書	: プリントにて対応				
参考書	:				
6. 注意事項					